

緊急開催！

ケースワーカー の役割を考える

日時

2023年9月17日(日)
13時半～16時半

※ 終了後懇親会あり（定員あり／先着順）

講師・報告者

池谷 秀登さん（立正大学／元東京都板橋区CW・SV）

横田 敏さん（東京都板橋区板橋福祉事務所）

横山 秀昭さん（NPO法人大地の会／元横浜市職員）

参加費（右のQRコードから申込下さい）

会員 無料

一般 500円（お支払いは当日でOK）



場所

文京シビックセンター
5階会議室C

東京都文京区春日1-16-21

全国公的扶助研究会
[HTTPS://KOFUKEN.COM/](https://kofuken.com/)

都内自治体で生活保護ケースワーカーが自宅で亡くなった保護利用者の遺体を2カ月半放置したことが報じられています。当該CWは1年目であり、「仕事が立て込んで後回しにした結果、上司に言い出せなくなった」と話しているそうです。

どうしてこのようなことが起きてしまったのでしょうか。

また、年々、業務過重になっている生活保護ケースワーカーですが、日々苦しい思いを抱えて現場で奮闘しているケースワーカーは多いのではないのでしょうか。

なぜこんなに大変で、なにがケースワーカーを苦しめているのでしょうか。そもそもケースワーカーの役割とは何でしょうか。

11月の長野佐久市での全国セミナーを前に、「生活と福祉」での連載や厚労省「生活保護受給者に対する就労支援のあり方に関する研究会」の委員を務められた池谷さん、長く都内自治体で生活保護業務に携わっている横田さん、横浜市の社会福祉職として、長く生活保護・精神保健福祉行政に携われた横山さんのお話から、ケースワーカーの役割を考えます。

主催

全国公的扶助研究会
関東運営委員

2023.9.17セミナー実行委員会
【問合せ】

zennkoku_koufukenn@yahoo.co.jp



<会場地図>



- ・東京メトロ後楽園駅・丸ノ内線（4a・5番出口）南北線（5番出口）徒歩1分
- ・都営地下鉄春日駅三田線・大江戸線（文京シビックセンター連絡口）徒歩1分
- ・JR 総武線水道橋駅（東口）徒歩9分

全国公的扶助研究会 とは

全国公的扶助研究会は、全国の生活保護ケースワーカーをはじめ、福祉事務所などの行政機関や民間の医療機関、福祉施設や当事者団体など、貧困問題と向き合い、公的扶助実践の交流や向上に取り組む福祉関係者で構成する自主的な研究会です。1965年に福祉事務所の社会福祉研究サークルの全国組織として結成され半世紀余りの歴史をもっています。

<今年の全国セミナーは？>

第55回公的扶助研究全国セミナー

対面開催決定 NAGANO 2023

11.11^{SAT} - 11.12^{SUN}

長野県佐久市 佐久大学

11日(土)	講座 120分	休憩	分科会 210分	受付 開始 17:30 18:00	懇親会 ウィーナスコート佐久平 20:00
	9:30 10:00	12:00	13:00		
12日(日)	全体会 150分	休憩	分科会 210分		
	9:30 10:00 12:00 13:00 16:30				

全体会

■基調講演 「いのちのとりにて裁判とナショナルミニマム(仮題)」
尾藤廣喜さん(弁護士、鴨川法律事務所)

■長野県リレートーク 「あたりまえの権利を求めて」

■講座・分科会 (予定)

- ・生活保護の基礎
- ・生活保護裁判
- ・扶養と自動車